

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月26日更新

事務事業名	文化芸術自主事業・文化協会活動支援事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局	課長名 牧野 淳一
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名 古閑 尚也
	施策の柱	38	生涯学習団体の育成		所属班	生涯学習班	(内線) 1504
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 6	事業連番 11517	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 5年度で終了 <input type="checkbox"/> 5年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	文化芸術自主事業実行委員会を組織し、年間の事業の企画立案・事業の実施を行なう。平成7年11月に総合センターのオープンに伴い、文化会館の活用と文化芸術の振興を目的に自主事業が始まり、実績は十分であるが、ジャンルによって入場率にばらつきが見られる。
【業務の流れ】	自主事業実行委員会の組織、年3回程度の実行委員会会議の開催、企画・立案、事業の実施、会計監査、事業実績報告書の作成・検証。
【主な予算費目】	職員手当、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	様々な年代の人が文化芸術に触れることができる企画を要望されている。特にライブやコンサートなど迫力のあるものを求められている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
【目的】市民に芸術文化を鑑賞する機会や参加する場を提供するとともに、芸術文化に対する理解を深め、感性を高めてもらう 【内容】文化芸術自主事業実行委員会への負担金支給および事務局として、年3回程度の実行委員会会議の開催、自主事業の企画を担う。 【実績】・文化芸術開催のための実行委員会を組織し企画運営を行った。 ・7月9日に、ふれあいコンサートを開催した。(来場者数は595人) ・7月23日に、ワイプル合唱団公演を開催した。(来場者数は667人) ・1月28日に、こけら落とし公演「響」第16回定期演奏会を開催した。(来場者数は約500人) ・3月9日、10日に第21回子ども劇団公演を開催した。(来場者数は1日目は約330人、2日目は約480人) ・3月16日に、選才のD.ENDOを開催した。(来場者数は約500人) 【成果】多様なジャンルの事業を開催したことで、若年層から高齢の方まで幅広い人に文化芸術に触れる場を提供することができた。	メイン事業、ふれあいコンサート、バンドフェスティバル、ワイプル子ども劇団公演を予定。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由 ⇒ アイ 人件費等の値上がりによる会場設営委託料の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民(特に、高齢者・障がい者など文化芸術に直接接する機会が少ない方々)	(単位) 人	⇒ アイ 市内の人口
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民が文化芸術活動に興味を持つ場を提供する。	(単位) 人	⇒ アイ 興味を持った人数(入場券購入者数)
*③成果指標設定の理由と6年度目標値設定の根拠 市民が興味を持つような催しを開催できたかを判断するため。目標値は会館の客席8割を見込んだ値。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 6,000

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	回数	回	1	7	7	7	7	7	7	7
② 対象指標	人数	人	63,841	64,453	64,453	64,453	65,311	66,650	68,409	69,457
③ 成果指標	人数	人	600	1,143	1,143	796	1,143	1,143	1,143	1,143
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	6,297	6,319	8,173	8,003	8,363	8,173	8,173	8,173
	(A) 事業費計	千円	6,297	6,319	8,173	8,003	8,363	8,173	8,173	8,173
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	11	11	7	11	7	7	7	7
延べ業務時間	時間	730	1,225	570	1,390	570	570	570	570	
(B)人件費計	千円	2,854	4,662	2,270	5,062	2,270	2,270	2,270	2,270	
トータルコスト(A)+(B)	千円	9,151	10,981	10,443	13,065	10,633	10,443	10,443	10,443	

事務事業名	文化芸術自主事業・文化協会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	---------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 年3回の自主事業実行委員会を開催し、委員へ事業報告等を行うことができた。また、全ての事業を問題なく開催することができたが、申込み方法を往復ハガキに限定しており、若者向けのイベントを開催するものの、その手間などから応募が少なく、想定より多くの空席を出してしまった。
	② 6年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 住民のニーズをよりの確にとらえ、集客の見込める事業を厳選して実施する予定である。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 広報やホームページでの周知の更なる努力を図り、集客の向上に努めなければならない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 既に類似する事業と統合済み。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助事業等を活用し、費用対効果がより優れた事業実施を目指す。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 技術管理委託により、高度な舞台技術操作と職員の勤務時間の軽減を図っている。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 実施計画についても、情報の収集により適正に進め、全市民を対象に啓発し、入場者の意見聴取した上で実施している。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 催物の主催者として行政が実施しているもので、公演の内容や、出演者との交渉等については他団体に委託して行っている。

3 評価結果の総括 (CHECK)

市民の文化意識の高揚を図るために各種補助事業の活用や、地元で活躍する団体を主とした公演など経費負担が少ない事業の実施を図る。主に公演場所となる文化会館のキャパシティが約600名なので、事業内容の検討もする必要がある。(新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、座席数を1/2利用としているため、今後の情勢に合わせた利用方法を検討する必要がある)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 現在、申込み方法を往復ハガキのみと限定している。ハガキを購入する手間や、若者が往復ハガキを知らないことが、申込みへの高いハードルになっていると感じる。 解決策として、オンラインでの申し込みを追加する。また、近々オーソンチケットなども検討し、幅広い世代の人が、気軽にストレスなく申し込めるシステムづくりを実現したい。																						